新潟市會津八一記念館　2021年度春季企画展

八一を知る 八一がわかる

俳句編

2021年
4月6日(火)～
6月27日(日)

午前10時～午後6時
(午後5時30分まで受付)

會津八一《カエル相撲図・痩がへる》

俳句に熱中した若き日々

痩がへるまけるな一茶是にあり
つきにひかへし會津八朔

同時開催

淺井愼平氏
寄贈
＝俳句と写真＝
ハイクグラフィーの
世界

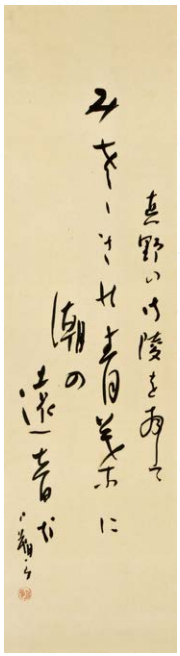
［会　場］新潟市會津八一記念館
［休館日］月曜日(ただし、5月3日は開館)、5月6日
［入館料］一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円
※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

［主　催］新潟市會津八一記念館　［共　催］新潟日報社
［後　援］BSN新潟放送　［協力企業］淺川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館　〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5F
TEL.025-282-7612(10:00～18:00)　https://aizuyaichi.or.jp

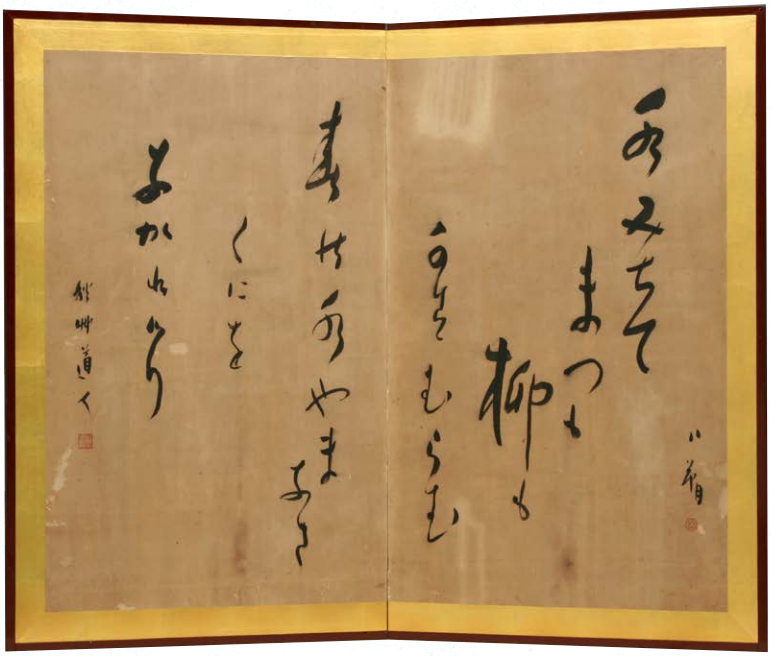
入館割引券
●本券持参で2名様まで2割引きいたします
●他の割引との併用不可
2021.6.27まで有効



會津八一《みさゝぎの》
大正時代　個人蔵

小林一茶《文化句帖》（六番日記）
江戸時代　個人蔵

河東碧梧桐《五月の寒さの》個人蔵



會津八一《水みちて・春の水》大正時代　瑞光寺蔵

八一を知る 八一がわかる 俳句編

この度の展覧会は、會津八一（1881～1956）の広範な学芸領域のなかで、もっとも早くに才能が開花した俳句に焦点をあてて企画しました。

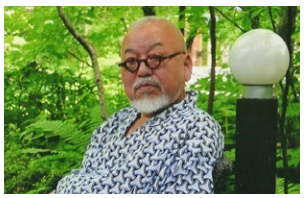
八一は一般に歌人として、書家として知られていますが、じつは18歳から48歳まで句作し、その数1293句を残しております。俳号を八朔郎（はっさくろう）と名乗り、俳句革新をめざす正岡子規に啓発されて、青年時代は俳句に熱中していた時期がありました。

展覧会では、その様子を俳句作品の墨蹟や原稿、書簡、雑誌などで紹介し、若き日、俳句に熱中した八一の文芸世界に迫ります。そのほか、八一が発見した小林一茶直筆の《文化句帖》（通称・六番日記）や、同時代の俳人（正岡子規、河東碧梧桐、高浜虚子、高野素十、中田みづほ）らの俳句作品も陳列します。

同時に、写真家・淺井愼平氏が昨春当館に寄贈してくださった自作の俳句と写真のコラージュ作品「ハイクグラフィー」53点を、お披露目します。

EVENT INFORMATION 関連イベント

EVENT 1 文芸講演会「生きる糧、俳句」



［講　師］中原道夫氏（俳人、新潟日報俳句選者）
［日にち］2021年6月13日（日）
［時　間］午後2時～3時半
［会　場］日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）
［聴講料］500円　［定　員］120名

EVENT 2 学芸員による作品解説会

［日にち］会期中の第2、4日曜日（4月11日、25日、5月9日、23日、6月13日、27日）
［時　間］午前11時～ 約50分　［会　場］当館展示室（企画展入場券が必要です）

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。
●4月6日～5月16日：佐藤雅風先生（新潟県書道協会理事、新潟市）
●5月18日～6月27日：菅井松雲先生（新潟県書道協会理事、新潟市）

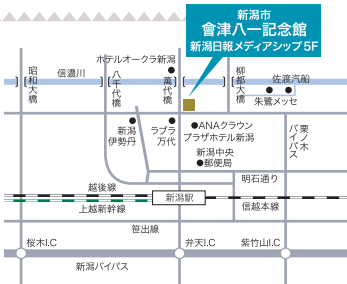
同時開催

淺井愼平氏寄贈
＝俳句と写真＝
ハイクグラフィーの世界
｜2021年4月6日（火）～6月27日（日）｜

イベントの申し込み方法

※往復はがきに参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、會津八一記念館までお送りください。
※ただし1通につき1イベント、1名様でのご応募といたします。定員に達し次第締め切ります。
※新型コロナウィルス感染症の影響により、会期、関連イベントなどが変更する場合があります。 ※ご来館の際はマスクをご着用下さい。

AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM
新潟市 會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。（階段はございません）

◎交通のご案内　新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分
◎駐車場のご案内　メディアシップ駐車場（24時間営業）第1駐車場は220円、第2駐車場は200円（第1、第2共に30分 税込）
※周辺には、万代シテイ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。